

自分で作った料理は
最高

食育おやこ料理教室

1月8日(火)、しんた21で『食育おやこ料理教室』（登別市食生活改善推進員協議会主催）が開かれ、小学6年生までの子どもとその保護者、合わせて30人が参加しました。

はじめに、市の栄養士がバランス良い食事を心掛けることや、朝食の大切さを説明。その後の調理実習では、ライスクリスピー、チョコレート、白菜スープ、3色チヂミの3品を作り、子どもたちは慣れない手つきで野菜を切ったり炒めたりしながら調理を進め、試食では満面の笑みを浮かべながら、できあがった料理を味わっていました。

1/8



▲楽しそうに釘を打つ様子



▲3色チヂミの具材を混ぜ合わせる様子

ギコギコギコ
トントントン

冬休み工作教室「本立て作り」

1月9日(水)、郷土資料館で『冬休み工作教室（本立て作り）』（市主催）が行われ、郷土資料館ボランティアグループSLGの方の指導を受け、小学1〜5年生の子ども16人が、のこぎりや金づちを使い本立てを作りました。本立ては高さ17センチ、幅23センチ、奥行18センチのベニヤ製。金づちを初めて手にする半数の子どもたちは、曲がりそうな釘を微調整しながら打ち込んでいました。

最後は紙やすりで角を削り『できたあ』と大喜び。できあがった本立ては、図鑑を入れたり、自由研究として活用するようです。

1/9

防災への決意新たに

平成25年 登別市消防出初式

1月7日(月)、市民会館で『平成25年登別市消防出初式』（市主催）が行われました。

消防職員や消防団員による一糸乱れぬ分列行進や、西胆振とび土木工事業連合組合と西胆振若鷲会による、纏振り、木遣り歌、はしご乗りが披露され、訪れた市民を沸かせました。はしご乗りでは、乗り手が天井に向かってまっすぐに伸びる梯子を駆け上がり、次々に技を繰り出すと、会場は威勢のいい掛け声と拍手に包まれました。また、この日、消防本部のマスコットキャラクターが初出動。消防職員が、ヒグマをモチーフに、デザインから制作までを手掛けた手作りのキャラクターは、会場を訪れていた女性や子どもたちに好評で、一緒に写真を撮る姿も見られました。今後は火災予防の啓発のため、市内のイベントなどで活躍する予定です。

1/7



▲初出動した手作りキャラクター（右）